

| 平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス  |                           |   |           |         |
|--|---------------------------|---|-----------|---------|
| 教科目名   | 建築製図Ⅱ                     | 担当教員  | 鶴田佳子、藤田大輔 |         |
| 学年学科   | 2年 建築学科                   | 通年  | 必修        | 2 単位    |
| 学習・教育目標  | (D-2 設計・システム系) 75%, E 25% |   |           |         |
| <b>授業の目標と期待される効果：</b><br>本授業では、RC造建築物の製図方法を修得するとともに、RC造建築物の設計基礎およびディテールを理解・修得することを目標としている。<br>具体的な目標を以下に掲げる<br>①RC造建物の製図法の習得（平・立・断面）<br>②RC造建物の製図法の習得（カナバカリ・詳細図）<br>③RC造建築物の基礎的設計<br>④自らの考えを分かりやすくプレゼンテーションできる   |                           | <b>成績評価の方法：</b><br>前期課題 100 点、後期課題 100 点、合計 200 点における得点率により評価する。<br>前期課題は、4 課題×各 25 点の計 100 点とする。<br>後期課題は、1 課題 100 点とする。個々の学生に模型製作および JWCAD を用いた図面プレゼンテーションを課し理解度を確認する。ただし、一つでも未提出の課題がある場合は、不合格とする。また課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。 |           |         |
|  |                           | <b>達成度評価の基準：</b><br>教科書レベルの製図・設計課題を出題し、下記のレベルまで達していること。<br>① RC造建築物の平・立・断面図をほぼ正確（6割以上）に描くことができる。<br>② RC造建築物の平面詳細・矩計図をほぼ正確（6割以上）に描くことができる。<br>③ RC造建築物の基礎的設計技能をほぼ正確（6割以上）に理解・修得できる。<br>④ アイデアを分かりやすくプレゼンテーションできる（6割以上）。           |           |         |
| <b>授業の進め方とアドバイス：</b><br>課題にあたっては提出期限を常に意識して、自ら課題作成のスケジュールを立てそれを実行すること。<br>トレース課題については、授業内容に関連する教科書のページを熟読し、建築製図における線の意味を理解し、一本一本意識しながら描写すること。<br>設計にあたっては、教員に進捗状況を提示し、教員のアドバイスを踏まえて、確実に設計を進めることが基本となる。<br>また、RC 造の基礎的設計およびプレゼンテーション技法の習得のため、各種建築雑誌や資料などを調べることで、有名建築を見学することなど、自ら学ぶ姿勢が求められる。 |                           |   |           |         |
| <b>教科書および参考書：</b><br>教科書・建築設計製図（実教出版）<br>・やさしく学ぶ Jw_cad7（ObraClub、エクスナレッジ）<br>・第3版コンパクト建築設計資料集成（日本建築学会編 丸善）<br>参考書：各種建築雑誌、建築家の作品集（特にRC造のディテールが掲載されているもの）など   |                           |   |           |         |
| <b>授業の概要と予定：前期(鶴田)</b>   |                           |   |           | AL のレベル |
| 第 1 回： RC 造建築物の設計基礎（講義）、課題説明、RC 造建築物の平面図トレース   |                           |   |           |         |
| 第 2 回～第 5 回： RC 造建築物の平面図トレース   |                           |   |           | C       |
| 第 6 回～第 8 回： RC 造建築物の立断面図トレース  |                           |   |           | C       |
| 第 9 回～第 11 回： RC 造建築物のカナバカリ図トレース   |                           |   |           | C       |
| 第 12 回～第 15 回： RC 造建築物の詳細図のトレース  |                           |   |           | C       |
| 第 16 回：フォローアップ（課題を返却し評価方法の説明を行なう）  |                           |   |           |         |

|  |  |  |  |         |
|--|--|--|--|---------|
| <b>授業の概要と予定：後期(藤田)</b>                   |  |  |  | AL のレベル |
| 第 17 回： RC 構造物設計のガイダンス                   |  |  |  |         |
| 第 18 回～第 22 回： 設計エスキス 1（基本計画）            |  |  |  |         |
| 第 23 回： 中間チェック（進捗状況の確認と指導）               |  |  |  |         |
| 第 24 回～第 30 回： 設計エスキス 2（平面および断面、模型のチェック） |  |  |  |         |
| 第 31 回： 講評会・フォローアップ（課題返却など）              |  |  |  | A       |

評価（ルーブリック）

| 達成度<br>評価項目 | 理想的な到達<br>レベルの目安<br>(優)             | 標準的な到達<br>レベルの目安<br>(良)               | 未到達<br>レベルの目安<br>(不可)           |
|-------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| ①           | R C造建築物の平・立・断面図を正確(8割以上)に描くことができる。  | R C造建築物の平・立・断面図をほぼ正確(6割以上)に描くことができる。  | R C造建築物の平・立・断面図を正確に描くことができない。   |
| ②           | R C造建築物の平面詳細・矩計図を正確(8割以上)に描くことができる。 | R C造建築物の平面詳細・矩計図をほぼ正確(6割以上)に描くことができる。 | R C造建築物の平面詳細・矩計図を正確に描くことができない。  |
| ③           | R C造建築物の基礎的設計技能を正確(8割以上)に理解・修得できる。  | R C造建築物の基礎的設計技能をほぼ正確(6割以上)に理解・修得できる。  | R C造建築物の基礎的設計技能を正確に理解・修得できていない。 |
| ④           | アイデアを分かりやすくプレゼンテーションできる(8割以上)。      | アイデアを分かりやすくプレゼンテーションできる(6割以上)。        | アイデアを分かりやすくプレゼンテーションできない。       |